

行政視察報告書

令和4年7月18日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 桑田 昌哲 議員
議員 議員
議員 議員

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

行程

7月18日 10時30分～11時00分 旭市 おひさまテラス内見学 保育士と意見交換
11時00分～12時30分 本をつうじて「面白がり力」をそだてよう！
13時20分～13時50分 道の駅 季楽里 あさひ見学

住 所	千葉県旭市イ 4337 番 1 イオンタウン旭 2階
電 話	
視察案件	多世代交流施設視察・生涯活躍のまち取り組み事例・道の駅内視察
期 日	令和4年7月18日(月) 10時30分 から 13時50分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	旭市多世代交流施設『おひさまテラス』 道の駅 季楽里 あさひ
	【視察目的】 笠岡と同等都市の中で、地域活性・農業や介護の連携で生涯活躍のまちを取り組んでいる。 特に、旭市は笠岡人口で市の課題も同じ事だと感じた。 生涯活躍のまちのコンセプト、市役所・民間と協議後どの様に有効活用(おひさまテラス)をし 子育て・介護・しごとでの拠点発掘・確保をしているのか視察する。 また、近くにある道の駅の状況や施設整備の比較も合わせて視察した。

●旭市多世代交流施設『おひさまテラス』

子どもや子育てを中心とした取り組みを通して、街の人々が笑顔でつながり、支え合い、共に育まれる場を目的に2022年4月にオープンをした。

ただ、子どもを預ける、子育て中の人の繋がりを広めるのが目的ではなく、子育てをしている親御さん一人ひとりが輝ける場所づくりをコンセプトとしている。

ワンフロア内で、レンタルスペース(有料)とパブリックスペース(無料)が混在する中子育てをしながら自分の「やりたい」を実現する場所

企業イオンモールとの検討をし、多世代交流施設を実現する。

この場所は、自分のやりたいを実現する場スーパー利用での子どもも一時預かりは契約に入れず、あくまでおひさまテラスの利用をする時間+前後30分ずつでの預かりとし、予約制で対象年齢:生後6か月~就学前の子ども定員(0~1歳が5名 2~6歳が7名)の12名地元の保育所がこの施設の為に、保育士を3名採用しベビーキャンプ内で保育をする。

現状、出来たばかりのため予約がない場合はフリースペースとし開放していた。

少しずつ、レンタルスペースも軌道に乗りこれからの稼働率は多くなる。

・フリースペースを利用していた方と会話(フリースペース利用は1時間)

ベビーキャンプスペースを予約なしで利用できるかは来てみないと分からないが、度々利用をしている、利用者からはいつでも利用できれば助かるとの話があるがオープンスペースと同じものは市役所内にあり、そちらでの使うときは市役所を使用するが、こども常時利用出来れば幸いであるとの意見もある。

保育士からの話は、利用をして頂ける親御さんが多くなればよいが、いつもフリーで利用するのはコンセプトが違うため仕方ない、利用に対して理解をして貰いたい。

働いている方が、この施設の方針を全員がよく理解している。ブレない事が良い事だと感じた。

同じ内容が別の場所があればよいが、特色を出したものがここの理念ではと感じる。

笠岡市の子育て支援とは違うが、子育ての充実ではなく、生産年齢女性のための施策ではと感じ、必要な部分の施策だと感じる。

●本をつうじて「面白がり力」をそだてよう！

・おひさまテラスで開催したイベントへ参加。

おひさまテラスでの開催で生産年齢女性を注視した施策で、レンタルスペースの利用促進の1つだと感じた。

地域貢献という考えでのイベント開催から場所提供をする場所としての特定とする。

●道の駅 季楽里 あさひ見学

多世代交流施設周辺には、旭市の道の駅も隣接している。

市として、どのように宣伝をしているのか確認と施設をみにいく

道の駅入り口に公園(遊具あり)とあさひマップと称して旭市全体のガイドマップを設置

市全体の観光スポットも写真入りで紹介されており、笠岡にないもので参考になるのでは

	<p>○市として子育てだけをピックアップするのではなく、さまざまな環境で地域資源や地域産業の実態を把握、そして、地元企業や他企業とのタイアップで持続可能なまちを考えていると感じた。各助成金や補助金や市債などを有効に活用し策定している事業であり 笠岡市も学べるところが多くあり、私自身も別角度での知識が増えたと感じる</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

視察状況写真

別紙